

任意活動団体

宮窪町石彫サークル

組織の概要

- * 代表者：会長 矢野 忠愛
- * 所在地：今治市宮窪町宮窪2668
- * 活動場所：「石工房みやくぼ」
今治市宮窪町宮窪3613
- * 活動分野：職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援

- * 活動地区：宮窪地区
- * 連絡先（TEL）：0897-86-2500

活動をはじめた「きっかけ」

宮窪町は、墓石に使われる高級な「大島石」が有名であるが、採掘した石の約3割しか製品になっていなかった。このため、彫刻の指導を受けることで、何かつくることができれば、廃石の有効活用と捨てられる石に価値をつけられるのではないかと、石の好きな人が集まり、平成4年10月に「宮窪町石彫サークル」を設立。

現在の主な取り組み

『廃石の付加価値を高める！彫刻の魚で町を水族館に！』

* 石彫サークルの活動

廃石のなかから、イメージが湧く石をみつけ、自分の好きな作品として、灰皿や一輪挿しなどの小物から、狸の置物などの作品を制作。

平成10年4月には、石材技術の研鑽と地場産業振興のため、伝統文化活用型交流促進施設として、「石工房みやくぼ」が完成し、大型作品の制作も可能となり、また、展示会や宮窪町産業文化祭などへの出展を行い、サークル全体のスキルを高めている。

これまでに制作した、石の魚のオブジェは、今治市宮窪支所前や宮窪漁港広場など、町内外に置かれている。

▼活動拠点「石工房みやくぼ」



▼工房内の工具



▼サークルが設置した魚のオブジェ



～活動団体の声～

高齢化や余暇の多様化などで、会員数が少なくなっているため、新規会員をふやすためにも、活動の発表の場を広げ、石文化の発展と地域活性化に向けた活動を展開していきたいと考えている。